

大雨警報（土砂災害）・大雨注意報の発表基準の変更について

大雨警報（土砂災害）・大雨注意報の発表基準を見直し、令和4年11月24日から新たな基準により運用します。

今般、鹿児島県と鹿児島地方気象台が共同で発表している鹿児島県土砂災害警戒情報の発表基準を変更することから、鹿児島地方気象台では、土砂災害警戒情報に先立って発表する大雨警報（土砂災害）・大雨注意報の土壌雨量指数基準^{※1}による発表基準についても、下記のとおり変更します。

この基準変更により、大雨警報（土砂災害）・大雨注意報が市町村における各段階に応じた防災対応をより適切に支援できるよう改善されます。

また、土砂キキクル（大雨警報（土砂災害）の危険度分布）^{※2}についても、より適切な判定結果となり、引き続き避難対象地域の絞り込みに活用いただけます。

記

- 1 基準変更日時 令和4年11月24日13時
- 2 基準変更市町村 鹿児島県内全ての市町村
- 3 基準値 各市町村の基準値は別紙を参照してください。
新基準は、11月24日以降、以下URLにも掲載します。
<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/kijun/kagoshima.html>

※1 土壌雨量指数については、以下を参照してください。

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/bosai/dojoshisu.html>

※2 土砂キキクルは下記のホームページで確認することができます。

<https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#elements:land>

問い合わせ先：鹿児島地方気象台 担当：土砂災害気象官 眞崎
電話：099-250-9919 FAX：099-255-4234

鹿児島県の大雨警報(土砂災害)・大雨注意報の土壌雨量指数基準値の新旧対照表

一次細分区域	市町村等をまとめた地域	市町村	大雨警報(土砂災害) 土壌雨量指数基準		大雨注意報 土壌雨量指数基準	
			新	旧	新	旧
薩摩地方	出水・伊佐	阿久根市	150	150	106	115
		出水市	152	167	107	128
		伊佐市	186	197	132	151
		長島町	163	157	115	120
	川薩・始良	薩摩川内市	136	129	96	99
		霧島市	148	159	105	117
		始良市	155	156	110	115
		さつま町	163	150	115	111
	湧水町	170	187	120	138	
	甑島	薩摩川内市(甑島)	146	135	103	105
	鹿児島・日置	鹿児島市	143	150	95	108
		日置市	152	134	101	96
		いちき串木野市	153	156	102	112
	指宿・川辺	枕崎市	180	183	120	131
		指宿市	177	196	118	141
		南さつま市	152	175	101	126
南九州市		169	183	113	131	
大隅地方	曾於	曾於市	157	186	106	143
		志布志市	159	156	108	120
		大崎町	177	162	120	124
	肝属	鹿屋市	155	151	105	101
		垂水市	161	148	109	99
		東串良町	178	207	121	138
		錦江町	161	185	109	123
		南大隅町	146	162	99	108
肝付町	170	177	115	118		
種子島・屋久島地方	種子島地方	西之表市	168	151	115	104
		三島村	152	174	104	120
		中種子町	175	214	120	147
		南種子町	198	190	136	131
屋久島地方	屋久島町	183	184	126	126	
奄美地方	十島村	十島村	156	170	117	129
	北部	奄美市	159	160	119	121
		大和村	190	209	142	158
		宇検村	164	189	123	143
		瀬戸内町	164	168	123	127
		龍郷町	172	204	129	155
		喜界町	158	144	118	109
	南部	徳之島町	137	159	102	120
		天城町	132	160	99	121
		伊仙町	178	164	133	124
		和泊町	141	170	105	129
		知名町	139	172	104	130
与論町		156	210	117	159	

※ 本表の値は各市町村内における基準値の最低値を示しています。

※ 令和元年6月28日以降、1kmメッシュの土壌雨量指数は、旧基準(5kmメッシュ)に合わせるため補正係数1.0852倍を乗じて利用してきたが、新基準(1kmメッシュ)ではこの補正は無くなる。このため、新旧基準の比較には注意が必要。